

名 称	令和7年度 社会教育委員会議（第1回）
日 時	令和7年6月20日（金） 14時00分～15時30分
場 所	市民情報センター 5階 マルチメディアホール
出席者	委員14名（別紙名簿のとおり） 事務局5名（中村教育長、佐藤教育次長、中村課長、湯澤係長、向井主任主事） 説明者1名（田仲学校再編推進室長）
内容及び 結果等	1. 開会（司会進行：中村課長）
	2. 委嘱状交付
	3. あいさつ ・中村教育長
	4. 委員及び職員紹介 資料1に沿って自己紹介。
	5. 事務局説明  (1) 社会教育委員の役割について 資料2により説明。  (2) 社会教育委員の各団体への出向について 資料3により説明。  (3) 学校再編計画の進捗状況について（学校再編推進室） 資料4により説明。  (4) 全国社会教育委員連合助成事業について 資料5により説明。
	6. 正副委員長選出 資料6 委員の互選により、委員長1名・副委員長2名を選出した。 (委員長) 山本和子委員 (副委員長) 斎藤陽子委員、兼目千恵子委員
	7. 審議及び報告事項  (1) 社会教育関係団体への補助金交付について 資料7、7-1、7-2により説明。委員からの質問・意見なし。  (2) 社会教育における現状と課題の収集について 資料8により説明。委員から下記のとおり意見があった。  (山本委員長) 社会教育委員には、提言をするという大きな役割がある。自主事業は活発にしているが、社会教育とはどういうものか考える時間が少なかったような気がする。委員から、例えば去年公

民館でやってることが見えてこない、やってるところはちょっと偏ってるよねという意見があり、事務局からの発表の仕方も変わってきた。こんなことが聞きたい、こんなふうにかかしていったらどうだろうというような意見はあるか。

**(竹澤委員)**

公民館事業など、何でその講座を知ったか。チラシ、友達や仲の良い人に聞いた、SNS で知ったなど。どのメディアがアピール力があるのか把握して前に出して、アピール力がないものは違う方向に持っていくのもよい。

**(上澤委員)**

どんな時間帯が参加しやすいか？ 年代ごと、地域ごとに知りたい。

**(山本委員長)**

参加率の地域差を知りたい。

**(斎藤副委員長)**

学んだことを何に生かしたか、他に何を学びたいか、どんな希望があるか、公民館事業に参加したことがあるか聞きたい。どれくらいの参加率なのか。 社会教育委員には提言するという役割があるが、しばらく行っていない。

いくつかの講座は参加人数が少ない。何がよくないのか、内容や時間帯とかを知って、誰でも参加できるようなものを提言していくことが必要。2年かけても提言していくとよい。

**(3) 社会教育委員の自主事業について**

資料9により説明。今年度も「かぬまかるた大会」を実施することとなった。

(社会教育委員会議終了後に打合せを実施した)

**(4) 他団体出向委員の活動報告 (該当委員から)**

(山本委員長) 3月の会議以降の活動について、各委員から報告があれば。

**(竹澤委員：古澤育英会評議員)**

書面会議だけだったので報告事項なし。

**(斎藤副委員長：社会福祉協議会評議員)**

事業報告があった。年3回会議があり、後は12月と3月に予定されている。

**(上澤委員：南部地区会館運営委員会委員)**

5月29日に総会があった。人権のことをもっとよく知ろうという意見が出た。今後勉強会をやるかも知れない。

**(兼目副委員長：自然体験交流センター運営委員)**

職員が頑張っているいろいろな案を考えている。参加者も多くなっている。学校で人数が多いところは宿泊日が分かれてしまい、ちょっとかわいそうだが、仕方がないことかと思う。会議に行くたびによい情報を得られている。

**(吉井委員：人権啓発推進市民会議委員・人権施策推進審議会)**

委員から「日本の人権レベルが先進国の中で一番低い。裁判するとき、他国では費用が公費で出る。日本の場合、警察や政府と争うとき、自分のお金で戦う。お金がないと訴えることができない。そういう差別を含めて、日本の人権レベルが低い。ランキング 40 位とかになっている」という意見が出た。しかしそれは 15 年位前の資料での話だったので、最近の統計資料を職員が調べている。10 月末に南部地区会館で開催する「ウェルフェア in かぬま」でパネル展示をしようと、資料を探している。国際的には日本はレベルが低い、そういうことを日本人は知らず、日本は優れていると思っている。知らないで差別をしている。昨日、東小で「人権の花プレゼント」をやった。人権の話を子どもにしたが、目を輝かせて聞いている。本来は大人を対象に話すことも必要。

**(山本委員長：公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団評議員)**

コロナの後、利用者・参加者・観覧者が多くなった。40 周年の大きなイベントがあり盛況だった。文化・スポーツに関しては、鹿沼も凄く動きがある。スポーツ施設は新築・改築で新しくなっているところが多いようで、安心した。

**(5) その他**

**(山本委員長)**

6 月 12 日、栃木県の姉妹州であるインディアナ州のビンセンス大学の学生が 5 人、石川小に来校して交流した。アメリカでは技術系の教科がないので、家庭科・美術・体育、工作・習字をやった。給食当番や掃除も一緒にやった。なぜ大学生が小学校に関心を持ったのか。「小さな学校」という映画があり、それが世界中で有名になっている。日本の学校はこのように子ども達に自己PRさせながら育てているのだなど、日本の教育体系が絶賛されていて、学校を体験したいと希望があった。ケーブルテレビでこの様子が放送される。

**8. その他 (委員から)**

**■学校再編について**

**(福田委員) 粕尾小学校校長**

学校再編について。学校教育の範囲がとても広がってしまい、今まで各地域で行われてきた行事や公民館の活動などが、ひとつの学校にたくさん入ってくることになる。だからといって、どうしてほしいという結論はないが。

私が以前ふれあい学習課にいたとき、県北で「いくつかの学校が 1 つになって困っていることは何ですか」と聞いたところ、「地域の人はあるをやりたいこれをやりたいとたくさん持っているけれど、学校は 1 つになってしまった。遠くからやってきている子ども達に、こういうのがあるから行きなさいとは言えない。バスもない。学校はどうやってそれを成就していったら

いいか分からない」と。

自分も校長になり、実際その立場になったとき、今はあと3年間頑張ろうと思っているけれども、この後学校が1つになり、その中には公民館がまだいくつもあって事業がたくさんあったり、安全協会や子供会育成会で何かやっていくとか、家庭教育学級が1つになってしまうのか、そういうことが起こると思う。そのとき、「学校教育の範囲でないものはすべて社会教育」と習っているので、社会教育として子どもの育成とどう関わっていくかというのは、すごく大切な問題だと思う。だからといってこうした方がいいという案はないが、やはりそれは委員の方々も知っていただいたほうがいい。子ども達は変わらないが体制が変わってしまう。そうなったとき、1つになった学校に「全部頑張れ」と言われても、それはとてもできない。公民館活動やコミュニティセンターの機能をどうしていくのかということも、生涯学習課のほうで全部というのは難しいと思うので、委員の皆さんにも意見をいただいていくのがよいと思う。

#### (上澤委員)

10年くらい前、西大芦の中学校、小学校が合併でなくなった。地区の公民館事業はあるが、子ども達が出られるのは日曜日くらい、それも小学校の高学年になると部活もあったりする。学校再編の会議の際、「学校は教育委員会が子どもの幸せだけを考えてやればよい、後のことは行政がやるべきだ」とずっと言ってきた。

地区から子ども達が消える。ふれあい農園でサツマイモの植え付けと芋掘りをして、直売所で焼き芋をあげるよ、と西小全体にお知らせしてきたが、地区の子が数人来るくらい。それでも、子ども達の顔が見られなくなってしまうのでなるべくやっている。公民館単位でやるのは難しくなる。

最初の頃、西小から東大芦公民館の事業に参加してもらった際、西小の子は自治会費を払っていないので、負担金を払ってもらった。学校が遠くなっているのに、わざわざこちらの公民館事業をやらせようというのは難しいと思う。何かいい方法があれば。

#### (福田委員)

「学校でやってくれ」と言われても、できないことはたくさんあると思う。粕尾の駐在所に大きな七夕飾りがあり、ライダーに「毎年楽しみにしている」という人がいると聞いた。そこで、暑いところだが7月1日にみんなで飾り付けをして、駐在所に飾ってもらおうねと話し、子ども達も楽しみに準備した。それにはKLVや安全協会の方も協力してくれた。では、粕尾小学校がなくなったときこれができるかと言えば、きっとできないだろう。そうなったときどこでやるのかというと、やはりそれはコミュニティセンターや公民館、育成会、子ども会など方法はいろいろあると思うが、なくなってしまってからだともうどうにもならないだろう。

#### (上澤委員)

青少年育成市民会議は、子ども達がいなくなったらいらぬということではなく、ずっと続けてやっている。七夕もやったが、来る人は少なかった。どうしてもこっち(市中心寄り)が中心になってしまうのは仕方ないと思う。あとは地域の住民の力だと思う。

#### (吉井委員)

統廃合は、いろいろな審議をしてやり方を決めて進めている。地域にとってみると、先生が迷っては一番困ると思う。教育委員会でこう決めたら、学校の先生は迷わないで地域に向

	<p>かい合っしてほしい。地域の人はいろいろ心配で勝手なことを言うが、先生はぶれないでほしい。他の市町村の教育現場で、合併してうまくいったところを見ると、先生がぶれないところは成功している。それが、地域の人が学校の先生を信頼することにつながる。学校再編はスムーズにっしてほしい。教育委員会、教育長をはじめ先生がしっかり盛り立ててっほしい。我々はそれに協力しようと思うので、よろしくっほしい。</p> <p><b>(中村課長)</b></p> <p>学校再編に関しては本当にいろいろな課題がある。市長からも、再編担当だけでなく市長部局も含め市役所全体で考えなければならない課題だと言われている。生涯学習課も含めて取り組んでっきたい。</p> <p><b>(中村教育長)</b></p> <p>これから学校再編を進める中で、細かいことや大事なことがたくさん出てくっと思う。心配なことを全部出してっいただいて、それをみんなで考えながら一つ一つどうしてっいか議論して進めてっいくことが大事。市全体で取り組む課題。皆さんも疑問にっ思うことを全部出してっいただいて、子ども達・学校・先生方・地元にとって一番よりよい方向をっ考えてっいきたい。</p> <p><b>9. 閉会</b></p>		
配布資料	次第、資料1～9		
次回予定	11月の開催を予定		
記録者	生涯学習係 湯澤伸夫		
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	0人

社会教育委員 会議出欠簿 R7第1回（6／20）14:00～

番号	氏名	氏名（読み）	出欠	備考	【役職】／所属団体等
1	福田 勝彦	ふくだ かつひこ	出		小中学校長会（粕尾小）※団体中のR7割当校
2	廣瀬 雅一	ひろせ まさかず	欠		P T A連絡協議会（南摩小）※団体中のR7割当校
3	佐藤 和也	さとう かずや	出		子ども会連合会会長
4	山本 和子	やまもと かずこ	出		国際理解教育（グローバルグループ）代表
5	兼目 千恵子	けんもく ちえこ	出		かぬまマイ・カレッジ 事務局長
6	吉井 和夫	よしい かずお	出		同和教育推進南部地区連絡会議 会長
7	谷中 恵子	やなか けいこ	欠		地域学校協働活動
8	斎藤 陽子	さいとう ようこ	出		放課後子どもプラン推進事業団体 代表
9	秋山 房子	あきやま ふさこ	出		家庭教育オピニオンリーダー
10	大出 忠央	おおいで ただお	出		子育て支援活動（プロジェクト宙）
11	島金 敬行	しまがね のりゆき	出		東大芦地区公民館利用代表者
12	丸山 阿子	まるやま あこ	出		南摩地区公民館利用代表者
13	笥 茂子	かけひ しげこ	出		粕尾地区公民館利用代表者
14	竹澤 靖	たけざわ やすし	出		板荷地区公民館利用代表者
15	上澤 邦子	うえさわ くにこ	出		公募
16	藤沼 清美	ふじぬま きよみ	欠		公募
17	阿部 明美	あべ あけみ	出		公募

# 令和7年度 第1回 社会教育委員会議 次第

と き：令和7年6月20日（金）14：00～  
ところ：市民情報センター5階 マルチメディアホール

## 1 開 会

## 2 委嘱状交付

## 3 あいさつ

・鹿沼市教育委員会 教育長 中村 仁

## 4 委員及び職員紹介 資料1

## 5 事務局説明

(1) 社会教育委員の役割について 資料2

(2) 社会教育委員の各団体への出向について 資料3

(3) 学校再編計画の進捗状況について（学校再編推進室） 資料4

(4) 全国社会教育委員連合助成事業について 資料5

## 6 正副委員長選出 資料6

## 7 審議及び報告事項

(1) 社会教育関係団体への補助金交付について 資料7

(2) 社会教育における現状と課題の収集について 資料8

(3) 社会教育委員の自主事業について 資料9

(4) 他団体出向委員の活動報告（該当委員から）

(5) その他

## 8 その他

## 9 閉 会

# 鹿沼市社会教育委員 名簿

資料1

任期 2年間（令和7年度～8年度）

（敬称略）

番号	氏 名	所属・役職	新規／継続	備 考
1	福田 勝彦	小中学校長会（粕尾小）	新規	
2	廣瀬 雅一	P T A連絡協議会（南摩小）	新規	毎年交代
3	佐藤 和也	子ども会連合会会長	継続	
4	山本 和子	国際理解教育（グローバルグループ）代表	継続	
5	兼目 千恵子	かぬまマイ・カレッジ 事務局長	継続	
6	吉井 和夫	同和教育推進南部地区連絡会議 会長	継続	
7	谷中 恵子	地域学校協働活動	継続	
8	斎藤 陽子	放課後子どもプラン推進事業団 体 代表	継続	
9	秋山 房子	家庭教育オピニオンリーダー	新規	
10	大出 忠央	子育て支援活動 （プロジェクト宙）	継続	
11	島金 敬行	東大芦地区公民館利用代表者	新規	
12	丸山 阿子	南摩地区公民館利用代表者	新規	
13	笥 茂子	粕尾地区公民館利用代表者	新規	
14	竹澤 靖	板荷地区公民館利用代表者	継続	
15	上澤 邦子	公募	継続	
16	藤沼 清美	公募	継続	
17	阿部 明美	公募	新規	

## 鹿沼市教育委員会（事務局） 担当者等名簿

番号	役職	氏名	備考	
1	教育長	中村 仁		
2	教育次長	佐藤 靖	新任	
3	生涯学習課長	中村 陽子		
4	生涯学習係長	湯澤 伸夫		
5	生涯学習係	名塚 優香	新任	
6	生涯学習係	向井 真央	新任	
7	生涯学習係	池田 昂志	新任	
8	生涯学習係	高木 誠		社会教育指導員
9	生涯学習係	香川 潤子	新任	社会教育指導員
10	生涯学習係	荒井 訓子		生涯学習指導員
11	生涯学習係	宇賀神 信子		生涯学習指導員
12	生涯学習係	岩淵 久子		

## 社会教育委員の役割について

### ○社会教育法（抜粋）

#### （社会教育委員の設置）

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

#### （社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

### ○鹿沼市社会教育委員条例（抜粋）

#### （設置）

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第15条の規定に基づき、本市に社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

#### （委嘱の基準）

第2条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに知識経験のある者のうちから教育委員会が委嘱する。

#### （定数）

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

#### （任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### （委員長及び副委員長）

第5条 委員長及び副委員長は、委員のうちから互選する。

# 鹿沼市における社会教育委員の活動について

## ○社会教育委員について

委嘱の根拠…社会教育法および鹿沼市教育委員会条例に基づいて委嘱される委員。

委員の任期…2年間。今期は、令和7年4月1日～令和9年3月31日。

委員の定数…20名以内

委員の構成…地区公民館を利用する者や団体をはじめ、社会教育関係の子育てグループ、地域学校協働活動、学校長会、市P連、市子連、などからの推薦等のメンバー、および公募に応じた方。

仕事の内容…①社会教育に関する諸計画を立案する

②社会教育に関する調査や研究

③社会教育関係団体の補助金の審議 など

## ○社会教育委員の会議等スケジュール

・定例会議 …基本的に年間3回。

例年、1回目を6月、2回目を11月、3回目を3月に開催することが多いですが、状況により変わります。

・勉強会 …上記②に関する勉強会で、テーマによって内容や開催回数も変わります。令和6年度は、社会教育委員の自主事業として小学生対象の「かぬまかるた大会」を開催するため、その準備として実施しました。

・研修会 …栃木県社会教育委員協議会研修会（例年10～11月頃）、その他

定例会議および研修会への参加については、市より報酬をお支払いします。（公務の一環として参加される方を除きます）

# 社会教育委員の各団体への出向について

資料3

社会教育委員には、さまざまな団体から委員等として参加の要請があります。現在の出向状況は下表のとおりです。（敬称略）

以前は6月の会議にて該当年度の出向者の決定を行っていましたが、しかし、それより早く決定しなければならないケースがあることから、令和6年4月24日の臨時会議にて、「3月の会議にて翌年度分の割当を決定する」と定められました。

組織・役職	令和6年度 担当委員	令和7年度 担当委員	任期	備考
社会福祉協議会 評議員	斎藤 陽子	斎藤 陽子	4年間 R7.6～ R11.6	(事務局) 社会福祉協議会
自然体験 交流センター 運営委員	兼目 千恵子	兼目 千恵子	2年間 R7.4.1～ R9.3.31	(事務局) 自然体験交流センター
人権啓発推進 市民会議 委員	(別組織 から参加) 吉井 和夫	吉井 和夫	2年間 R7.4.1～ R9.3.31	南部地区連絡会議会長として 参加している委員が出向(2 委員の兼務可) (事務局) 人権・男女共同参 画課
人権施策 推進審議会	(別組織 から参加) 吉井 和夫	吉井 和夫	2年間 R7.4.1～ R9.3.31	
南部地区会館 運営委員会 委員	上澤 邦子	上澤 邦子	2年間 R6.4.1～ R8.3.31	(事務局) 人権・男女共同参 画課
教育委員会 評価委員	山本 和子	山本 和子	2年間 R7.6.1～ R9.5.31	(事務局) 教育総務課
公益財団法人かめ ま文化・スポーツ 振興財団 評議員	山本 和子	山本 和子	4年間 R6.6.7～ R10.6月	委員長が出向 (事務局) 文化課
古澤育英会 評議員	竹澤 靖	竹澤 靖	4年間 R5.5.12～ R9.5	(事務局) 教育総務課

▼県 社会教育委員協議会関係 (事務局) 県 生涯学習課

役職	令和6年度 担当委員	令和7年度 担当委員	任期	備考
評議員	(市委員長) 山本 和子	(市委員長)	1年度	令和6年4月24日の臨時会議において、市の委員長が 出向することと決定。令和7 年度第1回会議にて委員長を互 選で決定。
理事			1年度 ×2回	上都賀地区から1名。評議員 と兼ねてもよい。2年毎に鹿 沼市と日光市でローテーショ ン。令和6年度・7年度は日 光市から。
監事			1年度	県北地区からローテーショ ンで1名。令和6年度は那須、 7年度は河内から。

## 鹿沼市立小中学校再編計画の進捗状況について 「前期実施プラン」の小中学校別の再編方針について（R7.5 現在）

本市では、教育環境の充実により、教育の質の向上を図ることを目的に、令和6年11月に、「鹿沼市立小中学校再編計画」を策定しております。

再編計画の実施により、学校数は、小学校24校、中学校10校の計34校から、小学校13校、中学校6校、義務教育学校1校の計20校とする方針です。

調査・検討中となっていた南摩・板荷地区において、再編方針や統合年度等の方針が決定しました。

※南摩・板荷地区の再編方針や統合年度等の方針について、赤字で表記しています。

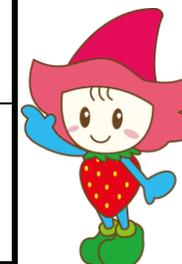
No	地区名	学校名	学校規模	目指す再編方針	年度
1	東大芦 加蘇	西小学校 加園小学校	適正規模 小規模	西小学校の校舎を活用し、西小学校、加園小学校の統合を推進します。	統合年度 R9
2	鹿沼 加蘇 南摩	西中学校 加蘇中学校 南摩中学校	適正規模 小規模 小規模	西中学校の校舎を活用し、西中学校、加蘇中学校、南摩中学校の統合を推進します。 ※南摩中学校はR9末閉校とします。	統合年度 R9
3	栗野 清洲  永野 粕尾	栗野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	小規模 小規模 小規模 小規模 小規模	栗野小学校の校舎を活用し、栗野小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校の統合を推進します。	統合年度 R10
4	南摩	南摩小学校 上南摩小学校	小規模 小規模	南摩中学校の校舎を活用し、南摩小学校、上南摩小学校の統合を推進します。	統合年度 R10
5	菊沢 板荷	菊沢西小学校 板荷小学校	適正規模 小規模	菊沢西小学校の校舎を活用し、菊沢西小学校、板荷小学校の統合を推進します。	統合年度 R10
6	菊沢 板荷	北中学校 板荷中学校	適正規模 小規模	北中学校の校舎を活用し、北中学校、板荷中学校の統合を推進します。	統合年度 R10
7	南押原	南押原小学校 楡木小学校 (みなみ小学校の一部) 南押原中学校	小規模 小規模 適正規模 適正規模	既存校舎を活用し、南押原小学校、楡木小学校、みなみ小学校(南上野町)を統合し、南押原中学校との小中一貫教育の実施を推進します。	目標年度 R11
8	北犬飼	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校の一部) 北犬飼中学校	適正規模 適正規模 小規模 適正規模 適正規模	校舎を新築し、石川小学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校(茂呂)を統合し、北犬飼中学校との義務教育学校の新設を推進します。	目標年度 R14



令和7年5月現在

## 鹿沼市立小中学校再編計画（前期実施プランの実施スケジュール）

No	学校名	前期					後期
		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度～15年度
1	西小学校 加園小学校	説明会 合意形成	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		校舎整備
2	西中学校 加蘇中学校 南摩中学校	説明会 合意形成	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		
3	粟野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	説明会 合意形成	開校準備会（3年間）			統合校 スタート	
4	南摩小学校 上南摩小学校	地区検討会 再編方針の決定	開校準備会（3年間）			統合校 スタート	
5	菊沢西小学校 板荷小学校	地区検討会 再編方針の決定	開校準備会（3年間）			統合校 スタート	
6	北中学校 板荷中学校	地区検討会 再編方針の決定	開校準備会（3年間）			統合校 スタート	
7	南押原小学校 榆木小学校 (みなみ小学校) 南押原中学校	説明会	合意形成 地区検討会	開校準備会（3年間見込）			小中一貫教育 スタート
8	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校) 北犬飼中学校	説明会	合意形成 地区検討会	開校準備会（6年間見込）			義務教育学校 スタート 校舎整備



## 令和 7 (2025) 年度 (第 17 回) 助成事業 募集のご案内

令和 7 年 5 月 1 4 日

一般社団法人全国社会教育委員連合

(一社) 全国社会教育委員連合では、平成 21 (2009) 年度より全国各地の社会教育活動の活性化をねらいとして、地域社会の課題等に対する調査・研究・活動のための事業に対する助成をしています。

令和 7 年度は以下のとおり募集いたしますので、ぜひ、御応募ください。

### 1 助成の対象

次のいずれかの者が行う社会教育に関する調査・研究・活動で、年度内に終了する事業

- ① 都道府県・政令指定都市及び市町村単位の社会教育委員又は会議
- ② 都道府県単位又は政令指定都市合同の社会教育委員連絡協議会
- ③ 社会教育に関する自主的な団体、グループ等

### 2 助成金額

1 事業 (団体) 5 万円を上限

### 3 助成団体数

2 団体程度を予定

### 4 応募の手続

取り組まれる調査・研究・活動の具体的な内容を様式 (別紙) に記入して申し込んでください。必要に応じて事業概要 (案) など補足資料を添付してください。

なお、審査に必要な資料の追加提出を求めることがありますので、御承知おきください。

### 5 応募締切日

令和 7 年 7 月 3 0 日 (水)

### 6 決定及び通知

審査会で審査の上決定し、結果については応募された団体全てに通知します。

### 7 助成団体への依頼

- ・事業報告を機関紙『社教情報』に掲載するため、原稿 (2 ページ分・2200 字程度) を執筆していただきます。
- ・事業終了後、速やかに助成事業決算報告書を提出していただきます。

### 8 申込及び問合せ先

〒101-0065

東京都千代田区西神田 3-1-6 日本弘道会ビル 7 階

一般社団法人全国社会教育委員連合 担当：稲葉・鳥越

電話：03-6380-8540 E-mail：shakyoren@shakyoren.or.jp

令和7年度（第17回） 助成事業 申請書

令和7年 月 日

一般社団法人全国社会教育委員連合  
会長 鈴木 眞理 殿

団体等名

代表者名

令和7年度（第17回）助成事業について、下記のとおり申請いたします。

記

申請団体・機関	名 称	
	代表者名	
	所 在 地	〒
	電話番号	
連絡責任者	氏 名	
	所 属	
	職 名	
	電話番号	
	E-mail	
地域の概要		
団体の概要 (主な活動・事業等)		

※詳細が分かるものがあれば右欄に記入の上、別紙で添付

<p style="text-align: center;">助成を申請する 事業の概要</p> <p>※事業実施要項(案)等、事業内容が分かる資料を別紙で添付してください。</p>	事業名	
	目的	
	日時	
	場所	
	参加対象	
	人数	
	事業内容	
	その他	※行政等からの委託事業、社会教育関係団体補助金等の機関・団体等からの収入が予定されている場合にはその旨明記してください。
助成金の申請額		円
助成費の用途	<p>(助成費の使途予定、それによってどのような効果や成果が得られると考えているかを簡単に記述してください。)</p>	

## 正副委員長選出

- ・委員の互選により、委員長1名、副委員長2名を決定します。  
(任期：令和9年3月31日まで)

委員長

---

副委員長

---

副委員長

---

## 社会教育関係団体への補助金交付について

・令和7年度は、鹿沼市PTA連絡協議会から補助金の交付申請がありました。このことについて、意見を伺います。

・鹿沼市子ども会連合会には、令和7年度から、社会教育関係団体補助金とは別の補助を行うこととなりました。今回は令和6年度分の報告のみとなります。

①鹿沼市子ども会連合会（令和6年度会員数）7,179人 資料7-1

（会長）佐藤和也（住所）文化橋町1982-18（市生涯学習課）

②鹿沼市PTA連絡協議会（令和7年度会員数）5,712人 資料7-2

（会長）鈴木正士（住所）樅山町297（北押原中学校）

No.	団体の名称	令和7年度 予算額 円	令和7年度 補助金 申請額 円	令和6年度 決算額 円	令和6年度 補助金 交付済額 円	令和6年度 決算に占 める補助 金の割合
①	鹿沼市子ども会連合会	/	/	2,540,933	194,000	7.6%
②	鹿沼市PTA連絡協議会	903,567	100,000	791,757	100,000	12.6%

### 社会教育法（抜粋）

（審議会等への諮問）

第十三条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第百二十号）第八条に規定する機関をいう。第五十一条第三項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

# 補助金等実績報告書

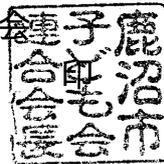
第 号  
令和7年4月30日

鹿沼市長宛

所在地 鹿沼市文化橋町 1982-18

団体名 鹿沼市子ども会連合会

代表者職名 会長 佐藤 和也



令和6年度において鹿沼市社会教育関係団体補助事業を完了いたしましたので、鹿沼市補助金の交付に関する規則第13条の規定により関係書類を添えて報告いたします。

(関係書類)

1. 事業実績書
2. 収支決算書
3. 総会資料

# 事業実績書

## 1. 事業の目的又は概要

本会は異年齢集団活動を重視とした子ども会活動を促進し、単位及び地区の子ども会活動を援助するとともに、子どもの安全確保を励行し活動支援者の輪を広げ指導者の育成に努めることを目的とする。

### 事業及び経費

事務・事業名	経費(円)	経費積算基礎
1 事務費	185,097	
事務費	55,819	切手、消耗品等
総会費	110,188	資料印刷代等
会議費	17,090	理事会、委員会費
負担金	2,000	鹿沼市青少年市民会議等
交際費	0	
2 事業費	2,355,836	
研修会費	20,342	指導者研修会等
育成活動費	1,001,658	リーダー養成研修会等
創作活動費	150,236	絵画展等
共済事業費	1,183,600	共済会保険
	2,540,933	

## 2. 事業完了日

令和7年3月31日

## 令和6年度事業報告書

区分	事業名	内 容	実 施 日	会 場	参加人員
会	令和6年度総会	1. 令和5年度事業・決算報告 2. 令和6年度事業・予算計画 ※単子理事、委任状	4月24日 (水)	かぬまケー ブルテレビ ホール	60人
	第1回理事会	1. 指導者研修会について 2. 共同創作活動について 3. 加入金について	4月10日 (水)	市民情報 センター	26人
	第2回理事会	1. リーダー養成研修会について	5月19日 (日)	かぬまケー ブルテレビ ホール	29人
	第3回理事会	1. リーダー養成研修会について 2. 絵画展について	6月19日 (水)	市民情報 センター	29人
	第4回理事会	1. 絵画展について 2. 子どものつどいについて	9月18日 (水)	市民情報 センター	29人
	第5回理事会	1. 子どものつどいについて	10月6日 (水)	文化活動 交流館	29人
	第6回理事会	1. 次年度に向けての各種届について 2. 年度活動の振り返り (ワークショップ&アンケート)	1月15日 (水)	市民情報 センター	26人
	新旧理事会	1. 総会について 2. 安全共済会加入について	3月5日 (水)	市民情報 センター	51人
議	役員会	1. 指導者研修会について 2. 絵画展について 3. リーダー養成研修会について 4. 子どものつどいについて 5. 次年度に向けて 6. 総会について	3月27日 5月8日 6月5日 7月10日 7月31日 9月4日 10月2日	市民情報 センター	76人 (延べ人数)
	指導専門委員会	※役員会、専門委員会合同会議のため、内容は同上	11月6日 12月4日 1月8日 2月5日 2月19日 (いずれも 水曜日)		
専門活動					

区分	事業名	内容	実施日	会場	参加人員
健全育成活動	第36回 リーダー養成 研修会	「生きる力を学ぼう」をテーマに2泊3日のキャンプ事業を実施した。火を起こして、食事を作ったり、あれこれ試行錯誤しながら水鉄砲を作った。班内行動の役割や体験活動を通して、リーダーとしての自覚を高めることができた。	8月17日～ 19日 (土)～(月)	自然体験交流センター	29人
	第40回 子どものつどい	出会いの森総合公園において、12種類のゲームに参加し、体や頭を使って活動することができた。参加者の募集や、ゲームの結果をオンラインを利用しお知らせした。	11月10日 (日)	出会いの森総合公園	194人
創作活動	第38回 子どもが描く 絵画展	「わたしの鹿沼じまん」をテーマに、自然や街並み、特産品等について描いた作品の応募があった。全作品を展示し、最終日には優秀作品を表彰した。また、その作品を挿絵とし、チラシや広報誌などに掲載し、広く鹿沼の自慢を広めることができた。	10月5日～ 6日 (土)～(日)	文化活動交流館 ギャラリー	449点
	共同創作活動	「納涼祭模擬店A看板」を製作した。感染症の影響でなかなか作業が進まなかったが、自治会の協力を得ながら、仕上げることができた。木工の町としての実感が深められた。	7月15日～ 10月20日	寺町子ども会 育成会 (中央小)	子ども 5人 指導者 2人
		遊具プロテクションモールの装飾パーツとなる絵画を、育成会ごとに好きなキャラクターや夏休みの思い出等のテーマで描いた。完成したものを体育発表会や校内に掲示し、多くの人に鑑賞してもらった。	10月31日	菊沢東小地区 子ども育成 連絡協議会	子ども 144人 指導者 12人
研修会	指導者研修会	テーマ：人権教育について考えよう 講師：斉藤 彩水先生(粕尾小学校) 誰もが自分らしく幸せに生活できる権利を、視聴覚教材を通しながら、解りやすく楽しく学ぶことができた。	5月19日 (日)	かぬまケーブルテレビ ホール	21人
その他	子ども会 安全共済会 加入推進	『紙ベース』加入単子数：68 単子 幼 児：50人、小学生：1,452人、中学生：178人、高校生：0人、 指導者・育成者：557人 計：2,237人 『ネット加入』加入単子数：71 単子 幼 児：128人、小学生：2,277人、中学生：274人、高校生：12人、 指導者・育成者：990人 計：3,681人 合計：5,918人			

## 令和6年度決算書

## 一般会計

・収入総額	2,788,628 円
・支出総額	2,540,933 円
・差引額	247,695 円

## (1)収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
1 加入金	250,000	273,800	23,800	単位育成会加入金
2 安全共済会保険料	1,054,000	1,006,060	△ 47,940	安全共済会保険料170円×5,918人
3 参加費	180,000	372,000	192,000	リーダー養成研修会参加費
4 補助金	194,000	194,000	0	市より
5 受託金	450,000	450,000	0	市より
6 事業奨励金	186,000	177,540	△ 8,460	安全共済会30円×5,918人
7 雑収入	981	209	△ 772	利息
8 繰越金	315,019	315,019	0	前年度繰越金
計	2,630,000	2,788,628	158,628	

## (2)支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考	
1 事務費	280,000	185,097	△ 94,903		
(1)事務費	130,000	55,819	△ 74,181	切手、消耗品等	
(2)総会費	110,000	110,188	188	資料印刷代	
(3)会議費	20,000	17,090	△ 2,910	理事会飲料等	
(4)負担金	10,000	2,000	△ 8,000	鹿沼市青少年育成市民会議	
(5)交際費	10,000	0	△ 10,000		
2 事業費	2,340,000	2,355,836	15,836		
(1)研修会費	50,000	20,342	△ 29,658	指導者研修会	
(2)育成活動費	リーダー養成研修会	720,000	904,015	184,015	
	子どものつどい	150,000	97,643	△ 52,357	
(3)創作活動費	絵画展	150,000	134,649	△ 15,351	
	共同創作活動	30,000	15,587	△ 14,413	
(4)共済事業費	共済会保険料	1,054,000	1,006,060	△ 47,940	
	事業奨励金	186,000	177,540	△ 8,460	事業奨励金立替費30円×5,918人
3 予備費	10,000	0	△ 10,000		
(1)予備費	10,000	0	△ 10,000		
計	2,630,000	2,540,933	△ 89,067		

特別会計（市子連事業資金準備金）

・収入総額 1,697,527 円

・支出総額 0 円

・差引額 1,697,527 円

(1)収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
安全会還付金	0	0	0	
特別事業奨励金	0	0	0	
雑収入	10	784	774	預金利息
繰越金	1,696,743	1,696,743	0	前年度繰越金
計	1,696,753	1,697,527	774	

(2)支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
事業費	0	0	0	
整備費	0	0	0	
修繕費	0	0	0	
計	0	0	0	

上記のとおり決算報告をいたします。

令和 7 年 3 月 2 日

会長

近藤 和也

庶務会計

黒澤 浩代

庶務会計

大井 和江

令和6年度決算において、帳簿並びに領収書等、証拠の書類を照合したところ相違ないことを認めます。

令和 7 年 3 月 2 日

監事

羽山 好明

監事

藤沼 清美

# 補助金交付申請書

鹿市P連 第2号  
令和7年5月1日

鹿 沼 市 長 様

鹿沼市樅山町297番地

鹿沼市PTA連絡協議会

会 長 鈴木 正



令和7年度において、鹿沼市PTA連絡協議会の事業活動を実施したいので、鹿沼市社会教育関係団体補助金100,000円を交付されるよう鹿沼市補助金等の交付に関する規則第4条により、関係書類を添えて申請します。

(関係書類)

1. 事業計画書
2. 収支予算書

# 事業計画書

## 1. 事業の目的

本会は市内の小中高校PTAの連絡協議を密にし、教育の振興を図ることを目的とする。

本会は前条の目的を達成するために下記の事業を行う。

- (1) 各学校PTAの連絡協議
- (2) PTA振興に関する各種の研究調査
- (3) 教育振興に関する諸活動
- (4) 各学校の児童生徒の健全育成
- (5) その他の必要な事項

## 2. 事業の内容および経費の区分

事業種目	総事業費 (A+B)	負担区分		経費算出の基礎
		市補助金	その他	
鹿沼市PTA連絡協議会の運営経費	円 903,567	(A) 円 100,000	(B) 円 803,567	別紙 令和7年度予算書 のとおり  (市補助金は、鹿沼市PTA連絡協議会運営に要する経費とし、20万円以内とする。)
計	903,567	100,000	803,567	

## 3. 事業完了予定年月日

令和8年3月31日

## 令和7年度 収支予算書

### 《収入の部》

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較		備考
			増	減	
1 会費	285,600	295,150		9,550	5,712名×50円(小中校)
2 特別会費	285,600	295,150		9,550	5,712名×50円(小中校) 県P負担金
3 補助金	100,000	100,000			鹿沼市からの補助金(100,000)
4 雑収入	2	2			預金利子
5 繰越金	232,365	313,712		81,347	前年度繰越金
計	903,567	1,004,014		100,447	

### 《支出の部》

(単位：円)

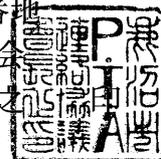
項目	本年度予算額	前年度予算額	比較		備考
			増	減	
1 事務費	60,000	80,000		20,000	用紙代、事務用消耗品
2 会議費	30,000	30,000			会議用飲物
3 事業費	440,000	490,000		50,000	
内 訳					
① 表彰・慶弔費	40,000	40,000			感謝状・記念品代
② 研修費	150,000	150,000			市P連指導者研修会諸経費
③ 大会派遣費	250,000	300,000		50,000	全国・関プロ大会参加費、各種研修会参加旅費
4 分担金	300,000	315,000		15,000	県P連分担金、 青少年育成市民会議負担金等
5 予備費	73,567	89,014		15,447	
計	903,567	1,004,014		100,447	

# 補助金等実績報告書

鹿市P連 第1号  
令和7年5月1日

鹿沼市長様

所在地 鹿沼市加園2800番地  
団体名 鹿沼市PTA連絡協議会  
代表者職名 会長 大野 孝之



令和6年度において鹿沼市社会教育関係団体補助事業を完了いたしましたので、鹿沼市補助金の交付に関する規則第13条の規定により関係書類を添えて報告いたします。

(関係書類)

1. 事業実績書
2. 収支決算書
3. 総会資料

# 事業実績書

## 1. 事業の目的又は概要

本会は市内の小中高校PTAの連絡協議を密にし、教育の振興を期することを目的とする。

本会は前条の目的を達成するために下記の事業を行う。

- (1) 各学校PTAの連絡協議
- (2) PTA振興に関する諸活動
- (3) 教育振興に関する諸活動
- (4) 各学校の児童生徒の健全育成
- (5) その他の必要な事項

## 2. 事業及び経費

事務・事業名	経費(円)	経費積算基礎
1 事務費	49,344	印刷用紙、トナー、振込手数料
2 会議費	14,666	会議用飲物代
3 事業費	414,197	
内 訳	①表彰・慶弔費	33,773 退任役員賞状、記念品代
	②研修費	293,469 鹿沼市PTA指導者研修会経費、 映画「みんなの学校」上映経費
	③大会派遣費	86,955 日本PTA全国大会・関ブロ大会経費
4 分担金	313,550	県P連分担金、上小中高P連分担金、 市青少年育成市民会議負担金
5 予備費	0	
計	791,757	

## 3. 事業完了日

令和7年3月31日

# 収 支 決 算 書

## 1 収入の部

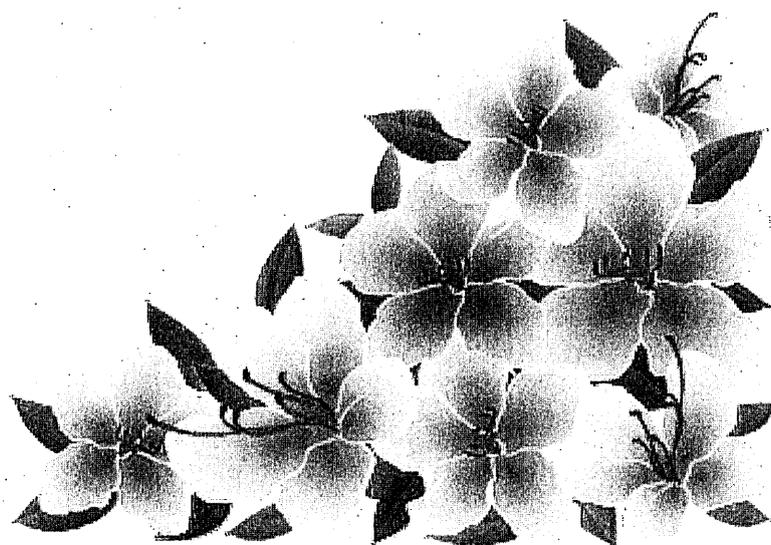
区 分	本年度予算額	本年度決算額	比 較		備 考
			増	減	
市補助金	100,000	100,000			市から
県P補助金	0	20,000	20,000		県P連から
会 費	590,300	590,200		100	5,902名
雑収入	2	210	208		利息
繰越金	313,712	313,712			前年度繰越金
計	1,004,014	1,024,122	20,108		

## 2 支出の部

区 分	本年度予算額	本年度決算額	比 較		備 考
			増	減	
市P連事業費	1,004,014	791,757		212,257	
計	1,004,014	791,757		212,257	

令和7年度

# 定期総会資料



令和7年4月28日（月）

鹿沼市PTA連絡協議会

# 令和6年度 鹿沼市PTA連絡協議会 事業報告

月	日	事業	会場	備考
4	18 (木)	会計監査 18:00① 三役会 18:30② 新旧三役合同会議 19:00③	市民情報センター 子育て情報室	①令和5年度会長会計監事 ②令和5年度役員 ③令和5年度役員・令和6年度役員
4	30 (火)	定期総会(書面開催) 総会資料4月22日配付		令和5年度活動・決算報告 令和6年度事業・予算案
6	4 (火)	三役会 19:00~	市民情報センター 学習室B・C	PTA指導者研修会について 全国大会、関東プロ大会 川崎大会 (8/23~24 神奈川) について
6	27 (木)	理事会 19:00~	市民情報センター 学習室A・B・C	同上
8	22 (木)	三役会 19:00~	市民情報センター 学習室B・C	市PTA指導者研修会について
9	10 (火)	市P指導者研修会準備会 (三役・中央支部会)	市民情報センター 子育て情報室A・B	市PTA指導者研修会に向けた係 準備会(三役と会長選出地区理事)
10	10 (木)	市PTA指導者研修会	市民文化センター 小ホール	講演会
11	7 (木)	三役会 19:00~	市民情報センター 学習室B・C	次年度の計画・組織検討
11	25 (月)	地区PTA指導者研修会	市民文化センター 小ホール	地区PTA指導者研修会 上都賀教育事務所主催の地区研修 会を日光鹿沼両市P連が共催で行 う
12	5 (木)	理事会 19:00~	市民情報センター 子育て情報室A・B	次年度の計画・組織検討
3	8 (土)	市P連映画上映会	市民文化センター 小ホール	映画上映会「みんなの学校」
4	17 (木)	会計監査 18:00 旧三役会 18:30	市民情報センター	会計監査、R7年度総会について
		新旧三役・総会議長合同会 議 19:00	市民情報センター	定期総会について
◇8月23日・24日 PTA全国研究大会、関東ブロック大会				

令和6年度 鹿沼市PTA連絡協議会 一般会計決算書

1 収入総額 1,024,122 円    2 支出総額 791,757 円    3 差引残額 232,365 円 (次年度へ繰越し)

○収入内訳

(△減)

(単位：円)

項目	当初予算額	収入済額	増減額	付記
1 会費	295,150	295,100	△ 50	5,902名×50円(小中)
2 特別会費	295,150	295,100	△ 50	5,902名×50円(小中) 県P連負担金
3 補助金	100,000	120,000	20,000	鹿沼市から(100,000円)、県P連から(20,000円)
4 雑収入	2	210	208	利息
5 繰越金	313,712	313,712		前年度繰越金
計	1,004,014	1,024,122	20,108	

○支出内訳

(△減)

項目	予算現額			支出済額	残額	付記
	当初予算額	予備費支出 流用増減	計			
1 事務費	80,000	0	80,000	49,344	30,656	トナー、コピー用紙、振込手数料
2 会議費	30,000	0	30,000	14,666	15,334	会議用飲み物
3 事業費	490,000	89,014	579,014	414,197	164,817	
1 表彰・慶弔費	40,000		40,000	33,773	6,227	旧会長感謝状、旧役員記念品代
2 研修費	150,000	89,014	239,014	293,469	△ 54,455	鹿沼市PTA指導者研修会経費、映画上映会経費
3 大会派遣費	300,000		300,000	86,955	213,045	日本PTA全国大会・関東ブロック大会経費
4 分担金	315,000	0	315,000	313,550	1,450	県P連分担金、上小中高P連分担金、市青少年育成市民会議負担金
5 予備費	89,014	△ 89,014	0	0	0	
合計	1,004,014	—	1,004,014	791,757	212,257	

令和7年4月17日

上記のとおり決算報告いたします。

鹿沼市PTA連絡協議会 会長 大野 孝之

鹿沼市PTA連絡協議会 会計 平井由貴江

上記決算書は、令和7年4月17日 監査の結果、各帳簿及び証拠書類と符合し、その正確なことを認めます。

鹿沼市PTA連絡協議会 監事 田口 善孝

鹿沼市PTA連絡協議会 監事 大貫

鹿沼市PTA連絡協議会 監事 小島里枝子

鹿沼市PTA連絡協議会 監事 福田 裕

# 令和7年度 鹿沼市PTA連絡協議会 事業計画 (案)

月	日	事業	会場	備考
4	17 (木)	会計監査 18:00① 三役会 18:30② 新旧三役合同会議 19:00③	市民情報センター 学習室1 (B・C)	①令和6年度会長会計監事 ②令和6年度役員 ③令和6年度役員・令和7年度役員
4	28 (月)	定期総会 (書面開催)		令和6年度活動・決算報告 令和7年度事業・予算案
6	3 (火)	三役会 19:00～	市民情報センター 学習室1 (B・C)	PTA指導者研修会について 全国大会、関東プロ大会 について
6	26 (木)	理事会 19:00～	市民情報センター 子育て情報室	同上
8	21 (木)	三役会 19:00～	市民情報センター 学習室1 (B・C)	市PTA指導者研修会の運営について
9	9 (火)	市P指導者研修会準備会 (三役・南支部会)	市民情報センター 子育て情報室	市PTA指導者研修会に向けた係 準備会 (三役と会長選出地区理事)
10	9 (木)	市PTA指導者研修会	市民文化センター 小ホール	講演会
11	6 (木)	三役会 19:00～	市民情報センター 学習室1 (B・C)	次年度の計画・組織検討
12	4 (木)	理事会 19:00～	市民情報センター 子育て情報室	次年度の計画・組織検討
4	16 (木)	会計監査 18:00 旧三役会 18:30	市民情報センター	会計監査、R8年度総会について
		新旧三役・総会議長合同会 議 19:00	市民情報センター	定期総会について
◇PTA全国研究大会石川大会 1日目8/22 (金) 2日目8/23 (土) 関東ブロック大会長野大会 1日目10/18 (土) 2日目10/19日 (日)				

令和7年度 鹿沼市PTA連絡協議会 一般会計予算書(案)

1 収入総額 903,567 円    2 支出総額 903,567 円    3 差引残額 0 円

○収入内訳

(単位:円)

項 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		付 記
			増	減	
1 会 費	285,600	295,150		9,550	5,712名×50円(小中)
2 特 別 会 費	285,600	295,150		9,550	5,712名×50円(小中)県P負担金
3 補 助 金	100,000	100,000			鹿沼市から(100,000円)
4 雑 収 入	2	2			利息
5 繰 越 金	232,365	313,712		81,347	前年度繰越金
計	903,567	1,004,014	△ 100,447		

○支出内訳

項 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		付 記
			増	減	
1 事 務 費	60,000	80,000		20,000	用紙代、事務用消耗品、振込手数料
2 会 議 費	30,000	30,000			会議用飲み物
3 事 業 費	440,000	490,000		50,000	
1 表彰・慶弔費	40,000	40,000			感謝状・記念品代
2 研 修 費	150,000	150,000			市P連指導者研修会等諸経費
3 大会派遣費	250,000	300,000		50,000	全国・関ブ口大会参加費、各種研修会参加旅費
4 分 担 金	300,000	315,000		15,000	県P連分担金、市青少年育成市民会議会費等
5 予 備 費	73,567	89,014		15,447	
合 計	903,567	1,004,014	△ 100,447		

令和7年4月28日

鹿沼市PTA連絡協議会会長

## 社会教育における現状と課題の収集について

市では、生涯学習課および各地区公民館の実施事業について、その計画・実績・課題に関する情報を集約し、社会教育行政および社会教育委員の会議資料等に活用してきました。

今後、市主催以外の社会教育活動（民間の取り組み）についても集約が必要であるとの意見を受け、アンケート調査を検討しています。

### ■社会教育の定義（文部科学省ホームページより）

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動を指します。

■アンケートでは、各団体の社会教育活動の実績や課題等を聞くことを予定していますが、アンケートの設問に反映させるため、社会教育委員としてどのような情報を収集したいか、収集した情報をどう役立てたいか、会議でどう扱っていくか、ご意見を伺います。

## 社会教育委員の自主事業について

- ・鹿沼市社会教育委員の会が自主的な活動として実施しているものです。
- ・平成28年からは、子どもたちに鹿沼の昔ばなしを知ってもらったり、家族で話してもらったりするきっかけ作りのため、小学生を対象に「かぬまかるた大会」を実施してきました。（別紙資料参照）
- ・令和7年度の自主事業実施の有無や内容についてご協議ください。
- ・実施する場合は、会議終了後に打合せ（自主勉強会）を行います。

## 第7回かぬまかるた大会 開催報告書

行事名	第7回 かぬまかるた大会
開催日時	令和7年1月19日(日) 午後1時30分～午後4時
開催場所	菊沢コミュニティセンター 多目的室(防災ホール)
主催	鹿沼市社会教育委員の会
協賛	上都賀農業協同組合様(賞品提供)
行事の趣旨・概要	鹿沼の子どもたちに鹿沼の昔ばなしを知ってもらったり、家族で話してもらったりするきっかけ作りとして、小学生を対象に開催。
参加料	無料
参加者数	・個人戦の部 54人(低学年23人・中学年16人・高学年15人) ・団体戦の部 51人・17チーム(低学年6・中学年5・高学年6) ※個人・団体の両方への参加が可能(実人数73人) ・見学者(保護者等)約80人
賞状・賞品等	・各部門の上位3人・3チームに賞状と賞品を授与 賞品:イチゴ(上都賀農業協同組合様提供) ・参加賞 ①鉛筆・消しゴムのセット ②ボールペンまたはクリアファイル(どちらか)
その他	・下野新聞・鹿沼ケーブルテレビの取材あり

【第7回かぬまかるた大会 報道関係】

### ■下野新聞

令和7年1月21日(火) 掲載

### ■鹿沼ケーブルテレビ 「かぬまトピックス」で放送

令和7年2月4日(火) から一週間・1日7回

- ①6:03～ ②10:03～ ③12:03～ ④15:03～  
⑤17:03～ ⑥19:03～ ⑦22:03～

## かぬまかるた大会 開催履歴

	開催日	会場	個人戦	団体戦
第1回	平成28年10月30日	市民情報センター	17人	12チーム 36人
第2回	平成29年11月26日	市民情報センター	15人	13チーム 39人
第3回	平成30年11月25日	市民情報センター	27人	15チーム 45人
第4回	令和2年1月26日	菊沢コミュニティセンター	31人	11チーム 33人
第5回	令和5年1月22日	北犬飼コミュニティセンター	14人	6チーム 18人
第6回	令和6年1月21日	市民情報センター	40人	10チーム 30人
第7回	令和7年1月19日	菊沢コミュニティセンター	54人	17チーム 51人

※個人戦・団体戦、両方への参加が可能

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止





# 第7回 かぬまかるた大会



(絵) 菊沢東小学校6年 岡健太さんの作品「かぬまかるた大会」  
鹿沼市子ども会連合会絵画展「わたしの鹿沼じまん」銀賞受賞

昔から伝わるかるた。鹿沼市内にもたくさんのかるたがあります。

鹿沼の子どもたちに鹿沼の昔ばなしを知ってもらったり、家族で話してもらったりするきっかけ作りとして、「かぬまかるた」を使った「かぬまかるた大会」を開催します。

## 開催内容

開催日：令和7年1月19日(日)  
13:30~16:00(受付13:00~)  
開催場所：菊沢コミュニティセンター  
(鹿沼市御成橋町2丁目2197-1)  
参加対象：市内在住・在学の小学生  
個人参加または団体3名1組の参加  
申込方法：下記のQRコードから入力するか、裏面の参加申込書に記入して生涯学習課へ提出してください。  
申込み締め切りは、12月25日(水)です。  
参加費は無料です。  
1~3位に賞品、全員に参加賞があります。

【部門】個人戦と団体戦があります。

- ・低学年の部 1年生~2年生
- ・中学年の部 3年生~4年生
- ・高学年の部 5年生~6年生



- ・当日、発熱があったり体調がすぐれない場合は、参加を見合わせてください。
- ・インフルエンザ等の感染拡大状況により、開催内容を変更、または中止する場合があります。

## 申込先・問い合わせ先

鹿沼市文化橋町 1982-18 市民情報センター4階  
鹿沼市教育委員会事務局 生涯学習課内  
鹿沼市社会教育委員の会 事務局  
TEL: 63-3498 FAX: 63-8325

【主催】

鹿沼市社会教育委員の会

【協賛】

上都賀農業協同組合(JAかみつが)

## 申込方法

- 裏面の申込書に記入のうえ、生涯学習課へ直接またはFAXで提出
- 下のコードまたはホームページから直接入力 どちらでもOKです!



鹿沼市ホームページ

( <http://www.city.kanuma.tochigi.jp/> ) から

かぬまかるた大会 で検索!

申し込みフォームから必要事項を入力し、送信してください。

# 『鹿沼のむかし話カルタ』 監修 ● 小杉義雄 絵 ● 箕輪行雄

## 発刊のことば

私たちのふるさと鹿沼には、むかしからいい伝えられてきたむかし話がたくさんあります。私は、それらの話を知ってお年寄りをたずねて聞きあつめ、『鹿沼のむかし話』という本にまとめました。この本は栃木放送で朗読されたり、TBSテレビまんがが日本昔ばなしの中で(辛正月)が放映されたりもしました。

その中には、キツネにだまされた話やなまげ者の話、天狗や河童の話など、いろいろな話がありました。そういう話を鹿沼市に住むみなさんに知ってほしいと思います、このカルタを作りました。

お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんとカルタとりをしながら、むかしから伝わるいろいろなことを聞いてみてください。

鹿沼のむかし話をくわしく知りたい人は、学校や市の図書館から本を借りて読むことをおすすめします。

鹿沼のむかし話を集める会会長 小杉義雄

※ ●は「鹿沼のむかし話」の題名、「」は地名

- あ アンパ様 みこしにのって 板荷をまわる ●アンパ様【板荷】
- い いなきが 判官塚に かなしくひびく ●大納言の馬【北赤塚】
- う 乳母のおんし のんでおがむ 羅漢様 ●姥母石【椋山】
- え 縁あればまた来るからと 猫の絵のこし 旅の人 ●墨絵の猫【草久】
- お 幼子に つきせぬ思い 夜泣き石 ●おとみ坂の夜泣き石【象間】
- か 河の主 とらえてたたる 三河淵 ●三河淵の鯉【板荷】
- き 木の股の 地蔵にこもる 母の愛 ●木の股地蔵【西沢】
- く 黒髪山を たずねてまよう 役の行者 ●役の行者と天狗【古峯原】
- け けさもまた 河原で ガマとイタチの大げんか ●ガマとイタチの大げんか【貝島】
- こ 子はだれも 国の宝と はしか和尚 ●はしか和尚【西沢】
- さ 酒野合の とこの淵のいわれつたえる 西山美人 ●とこの淵【酒野合】
- し 勝道が 修行をつんだ 巴の宿 ●深山巴の宿【古峯原高原】
- す 杉の木 のほごにまつる 子安の石 ●三夜様【花園】
- せ 蟬が淵 白蛇まつる いなり様 ●蟬が淵の白蛇【末岡町】
- そ 底力 河童をまかした こつつけ 王様 ●主膳と河童【北赤塚】
- た 大切な水 いまもわき出る お助けの水 ●弘法お助けの水【草久】

- ち 稚児沼につたわる 乳にまつわる ●稚児沼【上石川】
- つ 筑波峯で わざをみいだした 次郎作天狗 ●次郎作天狗【酒野合】
- て 天狗たち さかさき交す 酒野合の水 ●酒の泉【酒野合】
- と 栃窪の おどつにまつる 薬師如来 ●木喰薬師【栃窪】
- な 泣けば勝ち 元気にそでと 泣き相撲 ●泣き相撲【椋山】
- に 仁神堂の 糠塚山の 蛇娘 ●糠塚山の蛇娘【仁神堂】
- ぬ 沼の石 ボコボコうなる 生子淵 ●生子淵【加園】
- ね ねだまれた娘をまつる オイノ弁天 ●オイノ弁天【上殿】
- の 野つ原で 坊主にされた ぼらふき男 ●坊主狐【日向】
- は 母の愛 子をよびもどす 辛正月 ●辛正月【草久】
- ひ 秀郷が つるぎささげた 押原神社 ●大三輪の神【上殿】
- ふ 藤つるを あんで 橋をつくれと 旅の僧 ●お藤観音【上石川】
- へ 弁天をだいにせよと 夢まくらに立つ女神様 ●雷島弁財天【文化橋町】
- ほ ボンボコと 沼にしずんだ わがまま領土 ●ボンボコ溜【茂呂】
- ま 満月の すずきの河原に 笛の音ひびく ●笛吹き河原【見野】
- み 峯の薬師に いのればなる 目の病 ●峯の薬師【日向】
- む 娘子の つらみつたえる 六兵衛屋敷 ●六兵衛屋敷【板荷】
- め 目ざれば 向きをかえてる 北向き地蔵 ●北向き地蔵【西沢】
- も 茂呂山の がつから様の 大わらい ●がつから様【茂呂】
- や 山あくて 天狗が見せる 歌舞伎の踊り ●紙帳が平の天狗の踊り【草久】
- ゆ 夢に見た 母をたずねて 鹿沼の城に ●さつき地蔵【三幸町】
- よ よいことば 二丁三丁ある 古峯参り ●ヤモとワサギと山イモ【西大芦】
- ら 雷様も おそれてさげる 雷の神 ●雷の神【油田】
- り 雷神に 水こいねがい わきたす泉 ●雷神の水【茂呂】
- る るり色の 鳥がまいとび 巢婦りの水 ●巢婦りの水【茂呂】
- れ 霊泉で 百人力の 独鈷水 ●弘法独鈷水【加園】
- ろ ろはだの火 かこんで聞いた 大太法師の話 ●大太法師の足跡【石裂・栃窪】
- わ 我が身より 人のためにと 橋つくる ●河五郎渡士【石裂】

練習用カルタ貸し出し中！ ご希望の方は  
生涯学習課(0289-63-3498)まで！

※下の申込書は市・生涯学習課へ提出してください。

## 第7回かぬまかるた大会 参加申込書

### ①個人参加の方

参加者氏名	ふりがな	学校名	小 年
保護者氏名		当日連絡先 (携帯電話)	

※緊急の連絡をする場合がありますので、携帯電話の番号をご記入ください。

### ②団体(チーム)参加の方

チーム名			
参加者氏名	ふりがな	学校名	小 年
参加者氏名	ふりがな	学校名	小 年
参加者氏名	ふりがな	学校名	小 年
保護者氏名 (代表1名)		当日連絡先 (携帯電話)	

